

眼形成・眼窩・涙道外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	視神経内側に位置する眼窩先端部腫瘍に対する経鼻経涙丘合同アプローチの術後成績
研究機関名及び研究機関の長 (試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	眼形成・眼窩・涙道外科 (職名) 准教授 (氏名) 高橋靖弘
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>〔利用目的〕</p> <p>視神経内側に位置する眼窩先端部腫瘍に対し、近年、鼻腔アプローチが主流となってきています。このアプローチ法は、広い術野が確保できることが最大の利点ですが、一方、術者が内視鏡を持たないといけないため、腫瘍への操作に両手を使えないことが欠点です。この欠点を補填するために、当院では、経鼻アプローチに経涙丘眼窩前方アプローチを追加しています。本研究は、視神経内側に位置する眼窩先端部腫瘍に対する経鼻経涙丘合同アプローチの術後成績を調べ、本術式の有用性を明らかとすることを目的としています。</p> <p>〔対象となる患者さん〕</p> <p>2016年4月から2022年12月までに視神経内側に位置する眼窩先端部腫瘍に対する経鼻経涙丘合同アプローチ手術を受けた患者さん</p> <p>〔研究期間〕</p> <p>研究実施承認日 ~ 2023年6月30日</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>診療情報の収集目的で、カルテを利用します。研究の方法に関する資料を入手・閲覧を希望する場合は、下記問い合わせ先まで申し出てください。</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：年齢、性別、患側、手術記録、病理診断、視機能検査結果等
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報の取得の方法	非該当

提供する試料・情報 を用いる研究に係る 研究機関名・研究責 任者名	非該当
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2023年4月30日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科 担当者:(職名)准教授 (氏名)高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(内線12314)